

けいじばん

- 17年度活動計画及び予算計画；4月10日の年次総会で別紙議案書1、議案書2の通り承認されました。今年度の定例活動日は4月10日(日)、5月22日(日)、6月19日(日)、9月11日(日)、10月23日(日)、11月13日(日)、12月3・4日(土・日)、1月22日(日)、2月19日(日)、3月19日(日)です。
- 次回活動日；5月22日(日)9時40分森林館駐車場集合、主な活動メニューはシンボルツリー選定、ホテイ竹タケノコ狩り、ホテイ竹林整備など。携行品：筆記用具、あれば樹木図鑑、鋸、鉋、お椀。
- 安全マニュアル；安全作業について昨年来議論を重ね、長村副代表推敲の力作「千年の森伐採作業・安全マニュアル」を全会員に配布、4月10日欠席の会員には郵送しますのでご活用下さい。
- 年会費納入；1,000円、未納の方は郵便振替口座00160-1-578810ちば千年の森をつくる会宛振込み下さい。5月22日現地での納入も可能です。16年度会費未納の方(2名)は2,000円。

かつどうのきろく

4月10日(日)晴 会員20名、小平顧問、吉原洋先生

- 平成17年度年次総会；10時～11時、於豊英島、規約に従い坂本代表を議長に議事。出席会員20名、委任状6合計26名、会員数44名の1/3を超え、総会成立。

(報告1)平成16年度活動報告；別紙報告1の通り報告、木工活動などにつき質疑の後承認された。

(報告2)平成16年度会計報告及び会計監査報告；別紙報告2の通り報告、補助金等につき質疑の後承認された。

(議案1)平成17年度活動計画；別紙議案1の通り提案、プロジェクト活動については別途具体的に協議することとし原案通り承認された。

(議案2)平成17年度予算計画；別紙議案2の通り提案、保険料、近隣対策等につき若干の質疑の後原案通り承認。

(議案3)役員改選；次の役員を選出した。

代表：坂本彌、

副代表：長村雅文・真鍋昌義(事務局)、

幹事：伊藤道男・鈴木敦・村野忠夫・

新井孝男(新任)・久我則子(新任)

増本秀雄(新任)、監事：久我哲也

幹事廣瀬可恵さん、会計東館緑さんは退任されました。2年間ご苦労様でした。

今年度会計は空席とし事務局兼任。



総会議案書及び「プロジェクト活動詳細説明」資料はメール不使用の総会欠席会員には「安全マニュアル」と共に別途郵送しました。メール会員には本会報誌3・4頁に掲載又は別添付しています。

- 島内観察調査；小平顧問の案内で巨木林周辺の森の周遊調査。ヤマザクラ、カスミザクラ、ヤブツバキなどの花木や林床のハルリンドウ、ヒカゲスミレなど観察しながら。

- キノコ収量調査；シイタケ約1.4^{kg}。乾燥のため干しシイタケ状に乾燥したものの多く重量も軽い。
- 山菜天ぷら；昼食は、タラノメ、ヤブレカサ、ワラビ、イタドリ・アザミ、イワタバコなど山菜の天ぷら、山盛りの山菜揚げに新井・長村・村野（真）さんなどの天ぷら班は交替で大奮闘（右写真）、ご馳走様。豊英島名物のハリギリは春の遅れのため新芽が遅く、今回はおあずけ。乾燥による硬さのせいもあり炭火焼きシイタケは不評で売れ残り。



- シイタケほだ木本伏せ；3月13日植菌のシイタケほだ木106本を木陰に右写真のように竹を支柱に左右に伏せ込み。数の勢いで瞬く間に完了。



- マダケ林・ホテイ岬観察；整備状況調査のためマダケ林を観察し今後の整備方針を確認。続いてホテイ岬散策、ホテイ竹林も手入の必要性を確認。コブハクチョウ1羽、岬水辺で休息中。

- プロジェクト活動打合せ；

別紙「プロジェクト活動のうち調査・記録・標示関係の詳細説明」について打合せ、各班の担当者を募集。

- (イ) 樹木・林床植物・きのこ・野鳥の調査とデジタル図鑑作成（統括：伊藤）担当者は写真・種類名・氏名・撮影日等の記録を伊藤幹事に送信又はCD保存提出。担当以外の情報・写真も大歓迎。

樹木班 「豊英島の樹木」 担当：森池・真鍋
 林床植物班 「豊英島の林床植物」 担当：増本・山脇
 キノコ班 「豊英島のキノコ」 担当：村野（忠）・久我
 野鳥班 「豊英島の野鳥」 担当：高橋

- (ロ) 保護植物調査・確認・標示（統括：伊藤）三島在住で清和地区の植生に造詣の深い吉原洋先生の指導を受け、保護植物の実物を確認、標示方法を検討し標示する。

保護植物調査・標示班 担当：新井・坂本・松本（ミ）

- (ハ) コナラ更新林（萌芽・実生）調査（統括：伊藤）14年11月伐採したコナラ林の萌芽と実生の状況を調査する。

萌芽調査班 担当：村野（真）

実生調査班 担当：未定

上記各班とも担当者の追加応募を歓迎、人数にかかわらず。

- コナラ更新林調査；切り株3株の萌芽更新ひこばえの本数と成長を調査。実生調査プロットはコナラ実生の新葉の展開不十分で、生存数確認が困難なため、調査開始を5月以降に延期した。

- 植生観察会；吉原洋先生をお迎えし、コナラ林、コナラ林とモミ・ツガ林境界通路を散策、植生観察・調査。次のような林床植物や花木・樹木の特徴、見分け方、利用法など学んだ。

ミヤマウズラ、ヒガンマムシ、チゴユリ、イチヤクソウ、カンアオイ、ノヤマトンボソウ、ツルグミ、ミツバツツジ、マメザクラ、ウワミズザクラ、ヤマザクラ、エンコウカエデ、ウリカエデ・ミヤマシキミ、シキミ、ヤマボウシ、ガマズミ、スノキ、サカキ、ヒサカキ、カクレミノ、ツクバネウツギ、ゴンズイ、リュウキュウマメガキ、ウグイスカグラ、コウヤボウキ、オニシバリ、ツゲ、イヌツゲ、アセビ、モチノキ、ヤマコウバシ、
針葉樹7種；スギ、ヒノキ、ネズ、モミ、ツガ、カヤ、イヌガヤ、
カシ類3種；アカガシ、アラカシ、ウラジロガシ、
クスノキ科；ヤブニッケイ、シロダモ、タブノキなどなど



（吉岡先生と学習熱心な生徒たち）

4月10日は天候にも恵まれ、多くの活動メニューをこなし、充実の一日でした。参加の皆様お疲れ様でした。